

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準および評価方法

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は正味財産増減額として処理）を採用している。

また会計処理は洗替処理でなく切放処理としている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	43,874,550	0	0	43,874,550
投資有価証券	524,550,000	0	437,846,000	86,704,000
小 計	568,424,550	-	437,846,000	130,578,550
特定資産				
貸与貸付金	18,101,000	-	2,376,000	15,725,000
奨学事業積立資金	177,400,078	24,420,639	-	201,820,717
小 計	195,501,078	24,420,639	2,376,000	217,545,717
合 計	763,925,628	24,420,639	440,222,000	348,124,267

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	43,874,550	(43,874,550)		
投資有価証券	86,704,000	(86,704,000)		
小 計	130,578,550	(130,578,550)		
特定資産				
貸与貸付金	15,745,000	(15,745,000)		
奨学事業積立資金	201,820,717	(201,820,717)		
小 計	217,565,717	(217,565,717)		
合 計	348,144,267	(348,144,267)		

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
使途の制約の解除による振替額	415,897,306
合 計	415,897,306